



BRL-04F インターネット接続ガイド

WINDOWS 98/98SE/Me

BROADBAND ROUTER

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

本製品を安全にお使いいただくために

警告

本製品をご利用の際は、以下の注意点を必ずお守りください。これらの事項が守られない場合、感電、火災、故障などにより使用者の重傷または死亡につながるおそれがあります。

分解・改造・修理はダメ！

各部のネジを外したり、カバーを開けたりしないでください。また製品内部の部品を改造・交換しないでください。感電や火災につながるおそれがあります。



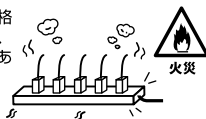
正しい電圧で使用して！

指定の電圧以外で使用すると誤動作や火災につながるおそれがあります。



タコ足配線・無理な配線はダメ！

コンセントや電源タップの定格を超えて電気製品を接続すると、発熱し火災につながる危険があります。



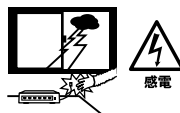
液体・異物はいれないで！

製品内部に液体や異物が入ると、ショートして火災が発生したり、誤動作したりする可能性があります。万一異物や液体が入ってしまった場合は、電源コードをコンセントから外して弊社サポートセンターまでご連絡ください。



雷のときはさわらないで！

雷が発生している間は、製品各部およびケーブルにさわらないでください。感電するおそれがあります。



通気口をふさがないで！

内部に熱がこもり、誤動作や火災につながるおそれがあります。



電源コードをつけて移動しないで！

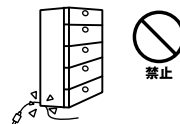
本製品を設置・移動する際は、必ず電源コードを前もって抜いておいてください。電源コードを入れたまま移動し、コードが傷つくと誤動作や火災につながるおそれがあります。



電源コードは傷つけないで！

火災・感電につながるおそれがありますので、電源やACアダプタのコードは絶対に加工したり傷つけたりしないでください。また以下の点を守ってコードを傷めないようにしてください。

- ◇コードの上に物を載せない
- ◇熱源の側にコードを置かない
- ◇コードをかじる癖のあるペットは隔離する（かじった部分からショートし発火する危険があります）



設置・保管場所をもう一度確認して！

以下の場所での本製品のご利用や保管は避けてください。これらの場所で設置・保管を行うと誤動作や感電、火災につながる危険があります。

- ・本製品が落下する可能性のある不安定な場所
- ・高温または多湿の場所（暖房器具の側も含む）
- ・急激に温度変化する可能性のある場所（結露のおそれがある所）
- ・静電気を帯びやすい場所（絨毯の上も含む）
- ・腐食性のガスが発生する場所

- ・直射日光のあたる場所
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所
- ・腐食性のガスが発生する場所



◎おねがい

本製品のお手入れ

- ・本製品のお手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。
- ・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布を浸し、かたく絞って本製品を拭いてください。また最後に乾いた布で軽く拭いてください。
- ・台所用中性洗剤以外は使わないでください。シンナーやベンジン、ワックス、アルコールが入ったものは使用できません。

目次

本製品を安全にお使いいただくために	2
1. はじめに	4
2. 梱包内容の確認	4
3. 各部の名称	5
4. 対応機器	8
5. インターネット接続の準備	9
Step1. パソコンを準備しましょう	9
Step2. bRoadLannerをパソコン・モデムと接続しましょう	14
Step3. bRoadLannerとパソコンを設定しましょう	15
Step4. インターネットに接続しましょう	27

<マニュアル内の表記について>

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。

※ 記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

1 はじめに

この度は、bRoadLannerシリーズをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
bRoadLannerは、CATV(ケーブルTV)インターネットおよびADSL(xDSL)インターネットに対応したブロードバンドルータです。ADSLモデム/CATVケーブルモデムと接続して複数のパソコンで同時にインターネットに接続できます。

本書は、Windows 98/98SE/Meを搭載したパソコンでこれからインターネットを始める方を対象にしています。(尚、Windows 2000/NT及びMacOSでの設定方法については本製品付属のCD-ROMマニュアルをご覧ください。)

bRoadLannerを使用してインターネットに接続するためには、多くの設定が必要になります。

初めてインターネットに接続する方は、本紙の手順に従って設定を行って下さい。

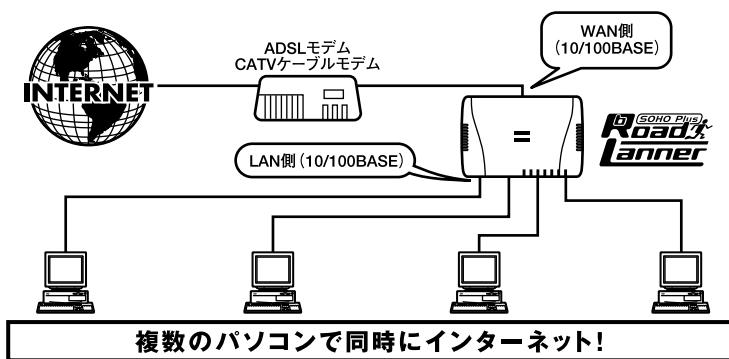


図1 bRoad Lanner接続図

2 梱包内容の確認

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認して下さい。

- bRoadLanner(BRL-04F)本体
- ACアダプタ
- LANケーブル(UTPストレート)1m
- ショートケーブル1本
- CD-ROMマニュアル
- 保証書
- 本書

3 各部の名称

■本体上面

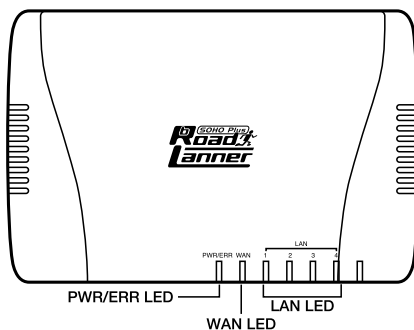


図2 BRL-04F 本体上面図

「PWR/ERR LED」

本製品に電源が供給されている場合に緑色に点灯します。本製品が正常に動作していない場合は、赤色に点灯します。

「WAN LED」

WAN側ポートのリンクが100BASE-TXで確立しているときは緑色に点灯します。リンクが10BASE-Tで確立しているときはオレンジ色に点灯します。

「LAN LED」

LAN側ポートのリンクが100BASE-TXで確立しているときは緑色に点灯します。リンクが10BASE-Tで確立しているときはオレンジ色に点灯します。

■本体背面

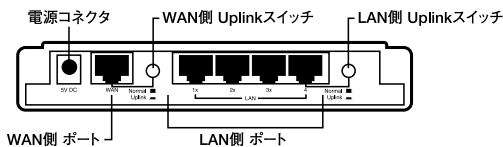


図3 BRL-04F 本体背面図

「LAN側ポート」

本製品をLANと接続するためのRJ-45ポートです。

「LAN側 Uplinkスイッチ」

LAN側ポートのポート4をUplinkポートに切り替えるためのスイッチです。

※Uplinkスイッチの使用例

BRL-04Fは4台以上のパソコンを接続する場合、ハブを使用します。

BRL-04Fとハブを接続する場合、通常はクロスケーブルと言われるLANケーブルを用意しなければなりません。Uplinkスイッチを押してポートをUplinkに切り替えるとストレートのLANケーブルでBRL-04Fとハブを接続できます。(ただし、ハブにカスケードポートと言われるポートがあり、このポートを使用してbRoadLannerとハブを接続する場合はUplinkスイッチを押す必要はありません)

「WAN側ポート」

本製品をADSLモデムまたはCATVケーブルモデムと接続するためのRJ-45ポートです。

「WAN側 Uplinkスイッチ」

WAN側ポートをUplinkポートに切り替えるためのスイッチです。

※Uplinkスイッチの使用例

一部のADSLモデム/CATVケーブルモデムによってはクロスケーブルと言われるLANケーブルでパソコンと接続する場合があります。この場合、bRoadLannerとADSLモデム/CATVケーブルモデムを接続にクロスケーブルを使用しなければなりません。Uplinkスイッチを押してポートをUplinkに切り替えることでストレートのLANケーブルでbRoadLannerとモデムを接続できます。

「電源コネクタ」

付属のACアダプタを接続するための電源コネクタです。

■本体裏面

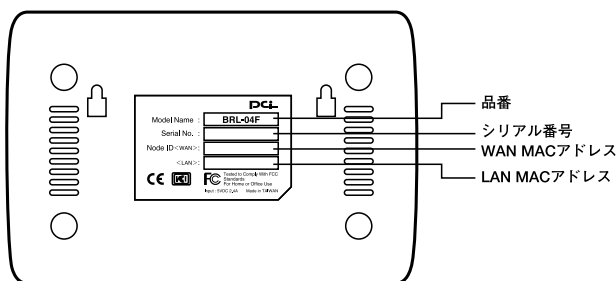


図4 BRL-04F 本体裏面図

「品番」

本製品の製品型番です。

「シリアル番号」

本製品のシリアルナンバーです。製品外箱に記載されているものと同じ番号です。ユーザー登録時に必要になります。また、製品故障時などにサポートを受ける場合にも必要になります。

「LAN MACアドレス」

本製品のLAN側ポートのMACアドレス(物理アドレス)です。

「WAN MACアドレス」

本製品のWAN側ポートのMACアドレス(物理アドレス)です。プロバイダによってはADSL(xDSL)モデム/CATVケーブルモデムに接続する機器のMACアドレスの申請が必要な場合があります。その場合は、このWAN側ポートのMACアドレスをプロバイダに申請して下さい。

4 対応機器

■コンピュータ機器

本製品は、以下のいずれかのコンピュータに対応しています。

Windows95/98/Me/NT/2000を搭載し、RJ-45(LAN)ポートを装備したコンピュータ。

TCP/IPが利用可能なOS(MacOS、各種UNIX等)を搭載しRJ-45(LAN)ポートを装備したコンピュータ。

■ネットワーク機器

本製品では、以下のネットワーク機器が必要になります。

LANケーブル(UTPまたはSTPツイストペアケーブル)

■xDSLモデム/CATVケーブルモデム

本製品は、以下のいずれかのxDSLモデム/CATVケーブルモデムに対応しています。

RJ-45(LAN)ポートを装備した外付けADSL(xDSL)モデム

RJ-45(LAN)ポートを装備した外付けCATVケーブルモデム

注意

USB接続のADSL(xDSL)モデムには対応しておりません。

5 インターネット接続の準備

Step1 パソコンを準備しましょう



Step2 bRoadLannerをパソコン・モデムと接続しましょう



Step3 bRoadLannerとパソコンを設定しましょう



Step4 インターネットに接続しましょう

Step1 パソコンを準備しましょう

bRoadLannerとパソコンの接続にはLANケーブル(UTPケーブル)を使用します。LANケーブルのコネクタは、RJ - 45ポートに差し込みます。最近のパソコンにはRJ-45ポートがある場合が多いのですがRJ-45ポートがないパソコンの場合は、別途LANボード(デスクトップパソコン)・LANカード(ノートパソコン)等を用意し、パソコンに取り付ける必要があります。

ここでは、bRoadLannerと接続するデスクトップ/ノートパソコンにLANボード・LANカードを取り付け、ドライバをインストールするまでを説明します。

なお、LANボード・LANカードの取り付け及びドライバのインストールは、標準的な方法を記載しています。詳細については、パソコンのマニュアルとLANボード・LANカードのマニュアルをご覧ください。

注意

LANボード・LANカードは、本製品に付属しておりません。販売店等でお買い求め下さい。

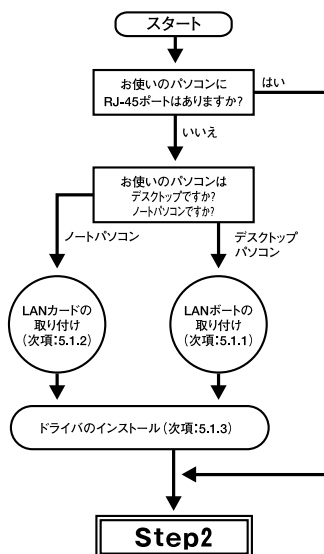


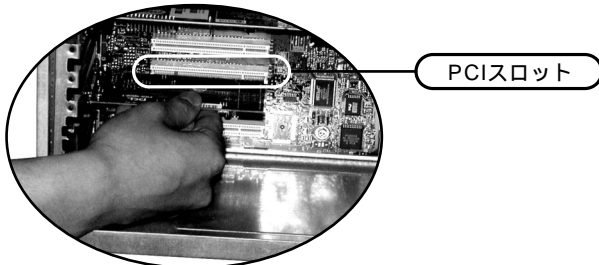
図5 Step1 パソコンの準備の流れ

▲ 注意

LANボード・LANカードを取り付ける際は、必ずパソコンの電源を切り電源ケーブルを抜いて下さい。

5-1-1 LANボードの取り付け

パソコン本体のカバーを開けパソコンの基板上的PCI拡張スロットを探しましょう。写真のようにPCI拡張スロットにLANボードを差し込みます。



▲ 注意

LANボード・LANカードを取り付ける際は、必ずパソコンの電源を切り電源ケーブルを抜いて下さい。

5-1-2 LANカードの取り付け

LANカードを写真のようにノートパソコンのカードスロットに差し込みます。



▲ 注意

LANボード・LANカードを取り付ける際は、必ずパソコンの電源を切り電源ケーブルを抜いて下さい。

5-1-3 ドライバのインストール

LANボードまたはLANカードの取り付けが終わったら、パソコンの電源を入れます。パソコンが起動すると自動的に「新しいハードウェアの追加ウィザード」ダイアログボックスが開きます。「次へ」のボタンをクリックします。



「使用中のデバイスに最適なドライバを選択する」をクリックして選択します。「次へ」のボタンをクリックします。



ここをクリック

「検索場所の指定」をクリックして選択します。LANボード・LANカードのマニュアルで指定されているドライバディスクのフォルダ名を空欄に入力します。ここでは「a:¥win 98」(aドライブのwin 98フォルダという意味です)を入力しています。Aドライブは、フロッピードライブを示していますのでLANボード・LANカードに付属しているドライバフロッピーディスクをセットして「次へ」のボタンをクリックします。

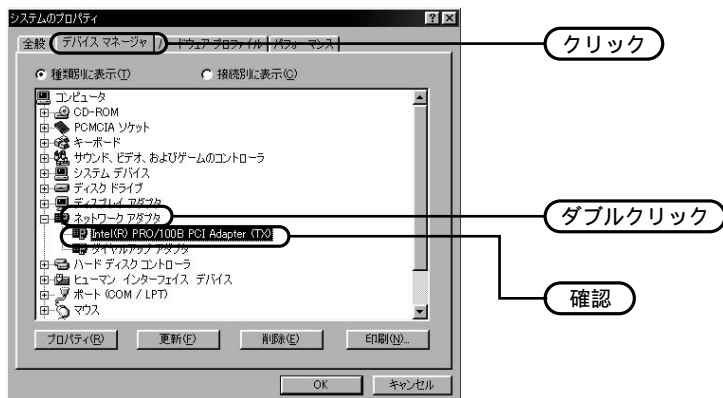


1. ここをクリック

2. ドライバのフォルダ名を入力

ドライバをインストールする準備ができた旨のダイアログボックスが開きますので「次へ」をクリックするとドライバがインストールされます。インストールを完了したらパソコンを再起動します。これでLANボード・LANカードの取り付け・ドライバのインストールは完了です。フロッピーディスクを取り出し、パソコンを再起動したら「スタート」「設定」「コントロールパネル」順にクリックします。

「コントロールパネル」ダイアログボックスが開いたら「システム」のアイコンをダブルクリックし、「デバイスマネージャ」のタブをクリックします。「デバイスマネージャ」が表示されたら「ネットワークアダプタ」をダブルクリックし、LANボード・LANカードの名前が表示されているのを確認しましょう。



▲トラブル

- LANボード・LANカード名が表示されない場合は、5-1-1・5-1-2に戻ってLANボード・LANカードがきちんと取り付けられているか確認しましょう。
特にLANボードは、拡張スロットにしっかり差し込まれているか確認して下さい。
取り付けを確認したら5-1-3の始めからやり直します。
LANボード・LANカード名が表示されない場合は、LANボード・LANカードのマニュアル及びパソコンのマニュアルを参照して下さい。
- LANボード・LANカード名の表示の横に「×」か「！」のマークが表示されている場合は、ドライバが正しくインストールされていないか、何らかの問題が発生している可能性があります。
LANボード・LANカードのマニュアル及びパソコンのマニュアルを参照して下さい。

Step2**bRoadLannerをパソコン・モデムと接続しましょう****⚠ 注意**

接続の際は、bRoadLanner・ADSLモデム/CATVケーブルモデム・パソコンの電源を全て切って行って下さい。

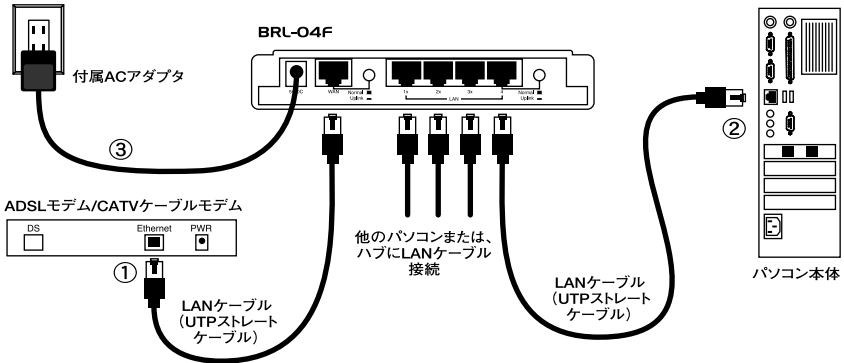


図6

① bRoadLannerとモデムを接続

bRoadLanner背面のWAN側ポートとADSL(xDSL)/CATVケーブルモデムのRJ-45ポートをLANケーブル(UTPケーブル)で接続します。

② bRoadLannerとパソコンを接続

bRoadLanner背面のLAN側ポートとパソコンのRJ-45ポートをLANケーブル(UTPケーブル)で接続します。

③ 付属ACアダプタをbRoadLannerの電源コネクタに接続

コンセントにACアダプタを挿すとbRoadLannerの電源が入ります。

④ 接続の確認

①～③の接続が終わったらbRoadLannerの電源を入れます。bRoadLannerのPWR/ERR LEDが緑色に点灯し、WAN及びLAN LEDが緑またはオレンジ色に点灯します。



bRoadLannerとパソコンを設定しましょう

■パソコン(ネットワーク)の設定・確認

パソコンにネットワークの設定を行いbRoadLannerの設定ができるようにします。

1. 「スタート」「設定」「コントロールパネル」順にクリックします。
2. 「コントロールパネル」のダイアログボックスが開きます。
「ネットワーク」のアイコンをダブルクリックします。
3. 「ネットワーク」のダイアログボックスが開きます。
「現在のネットワークコンポーネント(N)」欄に「TCP/IP -> LANカード・LANボード名」が表示されていることを確認します。



「TCP/IP -> LANカード・LANボード名」が表示されていない場合は、

4. TCP/IPがインストールされていない場合 に進みましょう。

「TCP/IP -> LANカード・LANボード名」が表示されている場合は、

5. TCP/IPがインストールされている場合 に進みましょう。

4. TCP/IPがインストールされていない場合

パソコンに「TCP/IP」をインストールしましょう。

「ネットワーク」ダイアログボックスの「追加」ボタンをクリックします。

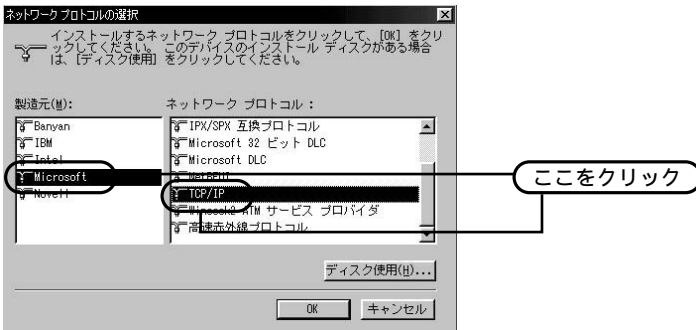
「ネットワークコンポーネントの選択」ダイアログボックスが開きます。

「インストールするネットワークコンポーネント」欄から「プロトコル」をクリックして選択し、「追加」ボタンをクリックします。



「ネットワークプロトコルの選択」ダイアログボックスが開きます。

「製造元」欄から「Microsoft」を、「ネットワークプロトコル」の欄から「TCP/IP」をクリックして選択し、「OK」ボタンをクリックします。



これで「TCP/IP」のインストールは完了です。

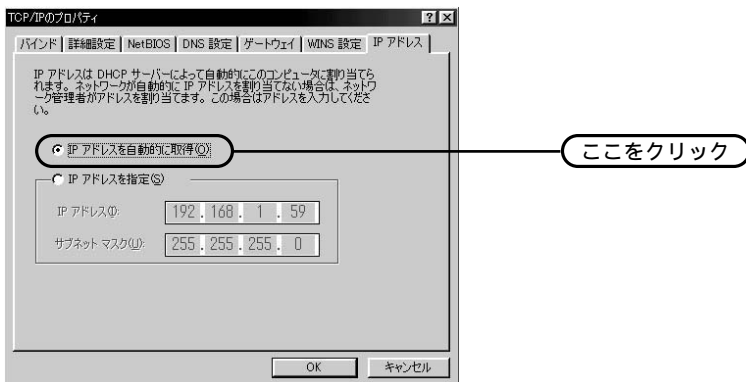
「ネットワーク」ダイアログボックスが開きますので **5. TCP/IPがインストールされている場合** に進みましょう。

5. TCP/IPがインストールされている場合

「ネットワーク」ダイアログボックスの「現在のネットワークコンポーネント」欄から「TCP/IP -> LANボード/LANカード名」をクリックして選択し、「プロパティ」をクリックします。

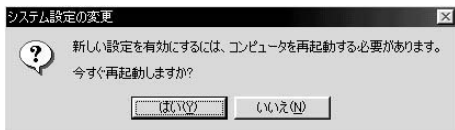
6. 「TCP/IPのプロパティ」ダイアログボックスが開きます。

「IPアドレス」のタブをクリックし、「IPアドレスを自動的に取得」を選択しクリックしましょう。「OK」ボタンをクリックすると「TCP/IPのプロパティ」ダイアログボックスが閉じます。



7. 「ネットワーク」ダイアログボックスの「OK」ボタンをクリックすると「システム設定の変更」ダイアログボックスが開きます。

8. 「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか？」と、表示されます。「はい」のボタンをクリックしましょう。パソコンが自動的に再起動します。これでパソコンの設定は終了です。次はbRoadLannerの設定を行きましょう。

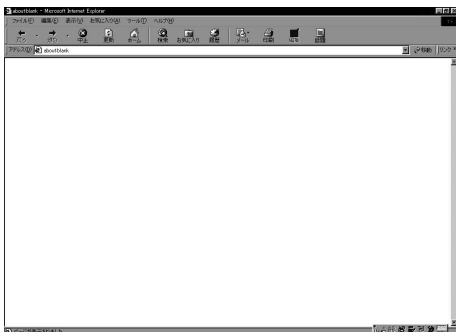


■bRoadLannerの設定

1. 「スタート」「プログラム」「Internet Explorer」の順にクリックしてWebブラウザを起動します。

▲ 注意

WebブラウザからbRoadLannerを設定するには、フレーム表示に対応したブラウザを使用する必要があります。NetscapeまたはMicrosoft Internet Explorerのバージョン4.0以降の使用を推奨します。



▲ トラブル

パソコンを購入してから一度もインターネットの設定をしていない場合、Internet Explorerを起動するとプロバイダの申し込み画面が表示され、bRoadLannerの設定画面にアクセスできないことがあります。

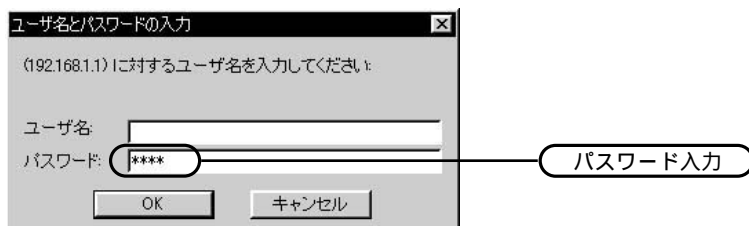
この場合、下記の手順でInternet Explorerを起動できるようにして下さい。

1. 「スタート」「プログラム」「アクセサリ」「通信」から、「インターネット接続ウィザード」をクリックして起動します。
2. 「インターネット接続を手動で設定するか、・・・」をクリックして選択し、「次へ」をクリックします。
3. 「ローカルエリアネットワーク・・・」をクリックして選択し、「次へ」をクリックします。
4. 「プロキシサーバーの自動検出」等のチェックをクリックして全て外し、「次へ」をクリックします。
5. 「インターネットメールアカウントを設定しますか?」という設定項目が表示されたら「いいえ」をクリックして選択し、「次へ」をクリックします。
6. 「完了」をクリックします。
7. Internet Explorerが自動的に起動されない場合は、「プログラム」からInternet Explorerを起動します。

2. 「InternetExplorer」が起動したら「アドレス」入力欄に「192.168.1.1」と入力し「移動」をクリックします。



3. 「ユーザー名とパスワードの入力」ダイアログボックスが表示されます。「ユーザー名」は空欄のまま「パスワード」の入力欄に「pass」と入力して「OK」ボタンをクリックします。



▲ トラブル

「ユーザー名とパスワードの入力」ダイアログボックスが表示されない場合は、以下の点を確認しましょう。

接続の確認

Step2に戻って各機器の接続を確認します。

接続に使用したLANケーブルの種類(ストレート・クロス)とbRoadLannerとモデムの設定が正しいか確認して下さい。モデム側に設定する個所(ディップスイッチ等)がある場合は、モデムの仕様書等を見て設定が正しいか確認します。bRoadLannerのWAN LEDが点灯していれば接続は正しく行われています。また、bRoadLannerとパソコンを接続したLANポートのLAN LEDが点灯しているかも同じように確認しましょう。

パソコンの設定を確認

Step3の最初に戻ってパソコンの設定を確認します。

1. から順に確認し、6. の「IPアドレス」の設定で「IPアドレスを自動的に取得」にチェックがされているかまで確認しましょう。

Webブラウザの設定を確認

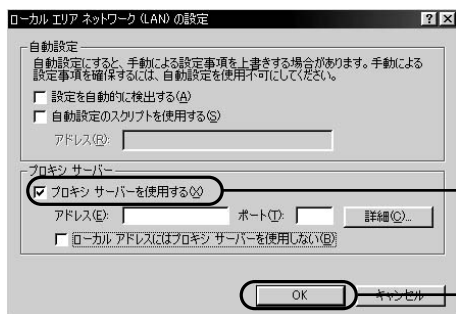
Internet Explorerの設定を確認します。

Webブラウザのプロキシ設定が解除されていないとbRoadLannerの設定画面にアクセスできません。

確認

Windows Me/98/98SE/2000でInternet Explorer Ver5.0～5.5を使用する場合は、ブラウザの設定を確認しましょう。ブラウザを起動後、「ヘルプ」「バージョン情報」の順にクリックするとInternet Explorerのバージョンが確認できます。

- 1 「スタート」「設定」「コントロールパネル」の順にクリックして「コントロールパネル」ダイアログボックスを開きます。
- 2 「コントロールパネル」ダイアログボックスの中の「インターネットオプション」のアイコンをダブルクリックします。
- 3 「インターネットのプロパティ」ダイアログボックスが開きます。「接続」のタブをクリックし、右下の「LANの設定」ボタンをクリックします。
- 4 「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」ダイアログボックスが開いたら「プロキシサーバを使用する」という項目にチェックがされていないか確認します。「プロキシサーバを使用する」がチェックされている場合は、クリックしてチェックを外すか、もしくは「ローカルアドレスにはプロキシサーバを使用しない」をクリックしてチェックして下さい。



1. チェックを外す

2. クリック

4. bRoadLannerのセットアップメニューが表示されます。
画面左にあるメニュー内の「WAN側ポート設定」をクリックします。



5. 「WAN側ポート設定」画面が表示されます。

ここから先の設定は、プロバイダから指定されている接続方法により若干異なります。

PPPoE接続を使用する場合（例 フレッツ・ADSLサービス）は、**6. PPPoE接続を使用する場合**に進んで下さい。

PPPoE接続を使用しない場合（例 CATVインターネット）は、**7. PPPoE接続を使用しない場合**に進んで下さい。

接続方法にPPPoEが指定されているかどうかは、プロバイダにお尋ね下さい。
PPPoE接続の指定がある場合は、通常、回線契約時に提供される資料等に記載があります。
PPPoE接続は、NTT東日本/NTT西日本の「フレッツ・ADSL」サービス等で使用されています。

6. PPPoE接続を使用する場合(例 フレッツ・ADSLサービス)

WAN側ポート設定

WAN側ポート MACアドレス 00 90 CC 13 1D F3

WAN側ポートのIPアドレスをDHCPサーバから自動取得する

PPPoE接続を使用する ①

WAN側ポートのIPアドレスを固定設定する

PPPoE接続のユーザー名 xxxxx@xxxx ②

PPPoE接続のパスワード ***** ③

サービス名 ④

自動切断までの時間(分) 5 ⑤

PPPoE接続状況 PPPoE 接続していません。
接続 切断

IP設定 自動取得 固定設定 ⑥

IPアドレス 0 . 0 . 0 . 0

サブネットマスク 0 . 0 . 0 . 0

ゲートウェイアドレス 0 . 0 . 0 . 0

開放 更新

ホスト名 BRL04F

ドメイン名

ドメインネームサーバ 自動取得 固定設定 ⑦

プライマリDNS 0 . 0 . 0 . 0

セカンダリDNS 0 . 0 . 0 . 0

保存して再起動 ⑧ クリア

- ① 「PPPoE接続を使用する」を選択してチェックします。

「PPPoE接続を使用する」をクリックして選択します。

- ② 「PPPoE接続のユーザー名」

PPPoEで接続する為のプロバイダから指定された、ユーザー名(ログイン名またはアカウント名)を入力します。

③ 「PPPoE接続のパスワード」

PPPoEで接続する為のプロバイダから指定された、パスワードを入力します。

④ 「サービス名」

プロバイダによってはPPPoE接続のためのサービス名が指定されている場合があります。この場合は指定されたサービス名を入力して下さい。サービス名の指定が無い場合は空白のままかまいません。

▲ 注意

プロバイダからサービス名の指定がない場合は、「サービス名」の入力欄には何も入力しないで下さい。

⑤ 「自動切断までの時間(分)」

ここで設定した時間、無通信状態が続くとPPPoE接続を自動切断します。自動切断をしない場合は0(ゼロ)を設定します。

⑥ 「IP設定」

プロバイダから固定のIPアドレスを割り当てられている場合は、「固定設定」をクリックして選択し、プロバイダから指定されたIPアドレスを入力します。最初の設定では「自動取得」が選択されています。プロバイダから特に指定されていない場合は、「自動取得」のままかまいません。

⑦ 「ドメインネームサーバ」

プロバイダからDNS(ドメインネームサーバ)が指定されている場合は、「固定設定」をクリックして選択し、プロバイダから指定されているDNSのIPアドレスを入力します。「プライマリDNS」の入力欄にプロバイダから指定されているDNS(ドメインネームサーバ)のIPアドレスを入力します。プロバイダから2つ目のDNSのIPアドレスを指定されている場合は、「セカンダリDNS」の入力欄にDNSのIPアドレスを入力します。

⑧ 「保存して再起動」ボタンをクリックして下さい。

「保存して再起動」のボタンをクリックします。

設定が保存されbRoadLannerが再起動します。

「InternetExplorer」の「ファイル」「閉じる」をクリックして「InternetExplorer」を終了します。

「Step 4 . インターネットに接続しましょう」に進みましょう。

7. PPPoE接続を使用しない場合(例 CATVインターネット)

WAN側ポート設定

WAN側ポート MACアドレス 00 90 CC 13 1D F3

WAN側ポートのIPアドレスをDHCPサーバから自動取得する ①

PPPoE接続を使用する

WAN側ポートのIPアドレスを固定設定する ①

PPPoE接続のユーザー名

PPPoE接続のパスワード

サービス名

自動切断までの時間(分)

PPPoE接続状況

接続 切断

IP設定 自動取得 固定設定 ②

IPアドレス ③

サブネットマスク ④

ゲートウェイアドレス ⑤

開放 更新

ホスト名 ⑥

ドメイン名 ⑦

ドメインネームサーバ 自動取得 固定設定 ⑧

プライマリDNS

セカンダリDNS

保存して再起動 クリア ⑨

- ① プロバイダからは、IPアドレスの設定を「自動取得」で設定するよう指示されている場合と指定のIPアドレスの設定を指示されている場合があります。
「自動取得」を指示されている場合は「WAN側ポートのIPアドレスをDHCPサーバから取得する」をクリック、指定のIPアドレスの設定を指示されている場合は「WAN側ポートのIPアドレスを固定設定する」をクリックして選択します。
「WAN側ポートのIPアドレスをDHCPサーバから取得する」を選択した場合は、通常以下の設定を行う必要はありません。ただし、プロバイダによっては「ホスト名」「ドメイン名」が指定されている場合があります。
この場合は、プロバイダ指定の「ホスト名」「ドメイン名」を入力します。
- ② 「IP設定」
先に「WAN側ポートのIPアドレスをDHCPサーバから取得する」選択した場合は、「自動取得」が自動的に選択されます。「WAN側ポートのIPアドレスを固定設定にする」を選択した場合は、「固定設定」が自動的に選択されます。
- ③ 「IPアドレス」
プロバイダから割り当てられているIPアドレスを空欄に入力します。
- ④ 「サブネットマスク」
プロバイダから割り当てられているサブネットマスクを空欄に入力します。
- ⑤ 「デフォルトゲートウェイ」
プロバイダから割り当てられているデフォルトゲートウェイアドレスを空欄に入力します。
- ⑥ 「ホスト名」
プロバイダからホスト名が指定されている場合は、指定されたホスト名を空欄に入力します。
- ⑦ 「ドメイン名」
プロバイダからドメイン名が指定されている場合は、指定されたドメイン名を空欄に入力します。

⑧ 「ドメインネームサーバ」

プロバイダからDNS(ドメインネームサーバ)が指定されている場合は、「固定設定」をクリックして選択し、プロバイダから指定されているDNSのIPアドレスを入力します。「プライマリDNS」の入力欄にプロバイダから指定されているDNS(ドメインネームサーバ)のIPアドレスを入力します。プロバイダから2つ目のDNSのIPアドレスを指定されている場合は、「セカンダリDNS」の入力欄にDNSのIPアドレスを入力します。

⑨ 「保存して再起動」

設定が保存されbRoadLannerが再起動します。

「InternetExplorer」の「ファイル」「閉じる」をクリックして「InternetExplorer」を終了します。

「Step 4 .インターネットに接続しましょう」に進みましょう。

<http://www.planex.co.jp/>